

# 新年度がスタート!

## かめおか作業所

今年度は新しいメンバーが1名加わり、気持ちも新たに新鮮な雰囲気の中スタートし、4月2日には入所式が行われました。たくさんの行事や取り組みを行って行く予定です。その中で中心になって頑張ってくれるのが、かめおか作業所ひまわり会の会長・森さん、副会長・芝さん、議長・栗山さん、書記・中川さん、会計・八田さん以上の5名です。この1年も楽しく、愉快に、健康第一!笑顔で過ごせるようにしていきたいと思えます。



## 第二かめおか作業所

メンバー一人ひとりが自分のペースで日々仕事を頑張っています。今年度のグループの抱負は、さわが「かいものやごちそうを楽しめるよう、しごとをがんばって給料を上げよう!」で、リサイクルグループは「みんな元気に仕事がんばろう!」「みんなで力を合わせて、ペット・缶・パックの仕事、回収をがんばろう!」です。年度初めから、みんな給料をとっても楽しみに仕事に向かっています。みんなの願いがかなうよう、力を合わせて仕事をし、いろんな取り組みを成功させていこうと思います。



## 第三かめおか作業所・デイセンターぽれぽれ

今年度は、桜が散ってしまった七谷川公園で、その日だけ寒いという天候の中、お花見歓迎会が行われました。新しいメンバーの紹介や一般就労をするメンバーの激励会をし、白井さん、今西さん、中川さんには大きな拍手が送られとても盛り上がりました。昼食は、今年の4月にオープンしたばかりのログハウスの中で、みんなで楽しく食べました。



# 第16回

ひろせ ゆみこ

## 廣瀬ゆみ子さん (デイセンターぼれぼれ)

デイセンターぼれぼれの廣瀬ゆみこさんにお話を伺いました。廣瀬さんはかめおか作業所開所時からメンバーで、2003年のぼれぼれ開所時からぼれぼれをご利用されています。

今年で16年目を迎えるぼれぼれで、廣瀬さんも16年目ですね。当時の仲間がどんどん減っていった、昔から知ってる人がいなくなるのは寂しいなあ。新しい人も入って賑やかな人もそれはそれでええけどな。

今のぼれぼれはどうですか？  
若い子が来てくれて嬉しい。昔は私より年上ばかりやっただし。

あと、毎日マッサージしてもらったりお風呂のない時は足浴してもらってます。足がポカポカして嬉しいです。

もっとぼれぼれの良いところ言ってください(笑)

職員は個性がバラバラで面白い！時々冗談でアホなこと言うてみんなを笑わせてくれるし。いいとこやで。

反対に私が職員に意見を言うこともありますよ(笑)

廣瀬さんはグループホームにまわりに住んでおられますがホー

ムの暮らしはどうですか？  
いいとこやで。みんなおつたら楽しいし、今はちよつと揃ってないけど面白いことばかり言うて楽しいです。土日は私一人やしゆつくりしてます。

最後に、ひまわりを読んでくださっているみなさんにこれだけは言いたい！と言うことはありますか？

65歳になってからヘルパー使うのにお金がかかる。1時間なれば5分、10分とオーバーする時もある。オーバーした分もお金が欲しいって言われる。ヘルパー使っておでかけするのもお金が要る。年取ってからお金が要ることは私にはカナンです！



### 第41回きょうされん全国大会in京都 知っ得！全国大会！！

全国大会プレ企画  
□乙ブロック企画

～仲間の願いを全国に発信します～



日時：2018年 6月14日(木)  
12:45～

場所：ガレリア亀岡 2階大広間

【参画団体】 一般社団法人京都府聴覚障害者協会亀岡支部  
公益社団法人京都府視覚障害者協会 京都中小企業家同友会  
京都府生活協同組合連合会 順不同

#### 企画内容

大会内容紹介動画、全国に向けて紹介しよう地域自慢、参画団体様紹介、大会テーマソングを歌おう など

お問い合わせ：亀岡市安町釜ヶ前19-1 TEL0771-24-9193

亀岡市障害者相談支援センター お結び 担当：山口

電岡福祉会の



※ホームページからご購入の場合、別途送料、振込手数料が必要になります。

亀岡福祉会

URL <http://www.kamecomyu.net>



亀岡福祉会のホームページがリニューアルしてから間もなく3年を迎えます。3月からは自主製品がホームページからもご購入いただけるようになりました。不十分な点はありませんが一度ご覧いただければと思います。また同時に驚いています。まだまだ十分に更新はできていませんが、今後色々な情報をアップしていきたいと思えます！

**時**

私の祖母は、昨年末に99歳の天寿を全うし世界しました。通夜・葬儀の際に、「惜しい」「もうちょつとで100歳やったのになあ」などの言葉が飛び交い、私自身もある意味簡単に考え、祖母の死を「惜しかった」ものと思ひ込んでいました。しかし、祖母の死後、一週毎の速夜でお参りを重ねるうちに、「祖母の死は、本当に惜しかったのか？」と想うようになり、祖母の歴史や最後の瞬間を思い出し、自問自答しました。祖母は、どんな時も教員として誇りを持ち、教え子には「和合」を何よりも優先に教え、明るくユーモアに溢れた人でした。最後の瞬間も、多くの親族に見守られ満足顔で他界しました。それらを鑑みると、「おばあらしく」生きれたんやなあと素直に思えました。「らしく生きることができた。これからの気づきを、今後のメンバー支援に活かしていこうと思います。」

「おばあありがとう」冥福を祈って・・・

(K)

ご寄付 3月/4月

2/24 カーブスジャパン 様 食料品他

3/8 池坊短期大学 様 お菓子

ご寄付ありがとうございました。